学校番号	T0106

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれからの生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
身近な事柄をきっかけに、経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について学びます。また、実習やグループワークを通して基礎的な技術を身につけることを目指します。

2　学習の到達目標

経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本知識な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を育てる

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	経済生活、高齢社会・衣生活・食生活に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="7">前期</td><td rowspan="3">経済生活を営む</td><td>多様化する消費生活の現状と課題を理解する</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:消費生活について興味・関心を持てている
b:消費者であることを主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:家計の収入と支出のバランスをみて、家計の計画ができる
d:消費者問題に関する正しい知識を身につけている</td><td rowspan="7">学習状況
実習
レポート
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>契約や消費者信用の意味と実態を理解する</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>家計と社会とのかかわりを考える</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">高齢社会を生きる</td><td>高齢者への支援のあり方を考える</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a:高齢社会について興味・関心を持てている
b:高齢社会を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:高齢社会に関する課題を解決する方法を持つことができる
d:高齢社会に関する正しい知識を身につけている</td></tr>
<tr><td rowspan="3">衣生活をつくる</td><td>トートバック製作を行う</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:衣生活について興味・関心を持てている
b:衣生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:実習を通して、被服製作の基礎的な技術が身についている
d:衣生活に関する正しい知識を身につけている</td></tr>
<tr><td>被服材料について学ぶ</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>衣生活の計画について理解する</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

後期	食生活をつくる	献立調理実習を行う（和食・洋食・中華）	○	○		○	a:食生活について興味・関心を持てている b:食生活を主体的にとらえ、食事計画を立てることができる c:実習を通して、調理の基本的な技術が身についている d:食生活に関する正しい知識を身につけている	学習状況 実習 レポート プリント 定期考査
		五大栄養素のはたらきと多く含む食品の特徴を学ぶ				○		
		食事計画について理解する	○	○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。